

国民大運動 News

2024.2.3

No.9

「軍事費を削って暮らしと福祉・教育の充実を」国民大運動山形県実行委員会
山形市薬師町2-6-15 山形県労連内

TEL 023-615-2172 FAX 023-615-2173

mail yamagataroren@yahoo.co.jp

「政治腐敗を根絶し、悪政から暮らしを守る山形ローカルウェブ」

国民大運動が呼びかけ 代表者会議を開催 裏金疑惑の徹底解明を！ 2.24集会を開催 講師に、上脇博之神戸学院大学教授、 山本豊彦「赤旗」日曜版編集長

政治腐敗を根絶し、悪政から暮らしを守ろうー国民大運動山形県実行委員会は1月12日、加盟団体以外の諸団体にも呼びかけて代表者会議を開催しました。

昨年11月に明らかになった自民党派閥のパーティー券収入による裏金疑惑を徹底解明するとともに、物価高やそれを放置する岸田政権の経済無策から県民の暮らしを守るため、様々な団体・個人が幅広く結集できる行動を展開しようと呼びかけたものです。

【あいさつ、メッセージ】

当日は、国民大運動代表委員の佐藤弘・山商連会長が主催者あいさつ。岸田内閣の支持率がこれほど低下する中、もっとデモなどの行動があってもよいと思っていたが、今回の裏金問題を契機に、いよいよ大きな運動を起こさなくてはならないと強調しました。

革新懇の高木紘一代表世話人が連帯あいさつし、「金権腐敗をなくすことが本質であって、派閥解消だけでは矮小化だ」と自民党の対応を批判しました。続いて、高橋千鶴子衆院議員がビデオメッセージで情勢報告をかねたあいさつを行いました。高橋氏は能登半島地震について、東日本大震災時に山形県からも庄内農民連など民主勢力の力強い支援で乗り越えることができたことをふまえ、今回も国民共同の力で復旧・復興をやり遂げようと呼びかけました。同時に、物価高などによる国民生活の窮状をよそに金権腐敗政治に陥っている自民党の姿勢を批判、企業・団体献金の全面禁止など悪政の根を絶とうと訴えました。



国民大運動が呼びかけた代表者会議
(1月12日 山形市)

【県内情勢報告、行動提起】

国民大運動の勝見忍事務局長が報告と提案を行いました。徐々に後退する雇用情勢、実質賃金の減少など賃金の実態、増え始めた企業倒産、いじめや就学援助に見られる子育て問題、2024年度から労働時間規制が強化される建設業などの状況、深刻化が続く人口減少、山形県が1月からパートナーシップ制度を開始するなどジェンダー平等に向け一歩前進したことなどが報告されました。さらに、「政治とカネ」をめぐる問題として、県選出

の衆院議員である遠藤利明氏や加藤鮎子氏の政治資金問題について、すでに報道された事案も引用し、解明すべき問題があることも指摘されました。

こうした情勢をいまえ、具体的な行動が提起されました。一連の運動の名称を「政治腐敗を根絶し、悪政から暮らしを守る山形ローカルウエーブ」とすること、運動の目的として、①自民党のパーティー券、裏金疑惑の真相を解明し、企業・団体献金を全面禁止する法改正につなげること、②急激な物価高騰・原材料高騰、岸田政権の経済無策から県民の暮らし、中小企業の営業・生業を守ること、③県民の切実な要求に根差した運動を積み上げ、「金権腐敗政治は必然的に庶民の暮らしに目を向けることはない」ことを明らかにしながら、市民と野党の共闘を前進させ総選挙での政権交代に貢献すること、の3点です。

具体的な行動として、①企業・団体献金禁止の法改正を求める取り組み②2月24日、金権腐敗政治の根絶を求める集会の開催③自民党県連や地元国会議員事務所への要請行動④物価高対策などについての県への要請⑤生活困窮者への「なんでも相談会・フードドライブ」の計画などを提案しました。

【活発な討論】

参加者から活発な討論が交わされました。

民医連から、県内でも数少ない「無料低額診療」の取り組みについて報告がありました。

新婦人から「ゲノム編集トマト」をめぐる全自治体要請や選択的夫婦別姓の実現を求める請願運動の経験が報告されました。

農民連から能登地震で県内で100万円募金に取り組んでいること、日本の食料自給率は30%台に落ち込み、自給率向上の目標も義務ですらなくなったことが紹介されました。

山商連から政治資金資金報告書に不記載があった場合は記載さえすればお咎めなしの一方、小規模な自営業者などはインボイス制度による負担も加わり1円単位まで記載が求められるなど、インボイス中止が強調されました。

民教連（県民間教育研究団体連絡会）からは、担任すら配置できない学校もあり、人員体制不足で子どもを十分に見ることができず、そのことで保護者の教員への不満が高まる要因となっているという悪循環が生まれていることが報告されました。

「政治とカネ」の問題では、国民大運動実行委員会として、山形県の国会議員や地方議員の政治資金などに関わる問題について調査する「調査委員会」的な機関を設けて専門的に対応をすすめてはどうかという意見も出されました。

これらの討論を積極的に受け止め今後の行動を推進すること、当面する2.24金権腐敗政治を根絶する県都集会を大きく成功させることを確認して閉会しました。

自民党・裏金疑惑の真相解明と 金権腐敗政治の根絶を求める県都集会

2月24日（土）午後2：00～4：30頃
山形ビッグウイング 中会議室

講演 上脇博之さん（神戸学院大学教授）
山本豊彦さん（赤旗日曜版編集長）
（上脇さんはオンラインで講演します）

資料代 500円
お誘い合わせでご参加ください。